# あまるめ～る

もくじ


P２　Something new in余目病院
P３　減塩を意識した透析調理実習
P４　病院ロゴマーク決定!!
P６　Nursing for you ⑥
P８　あまるめトピックス
P10　随想
P11　あまるめ～る川柳／患者さんの作品紹介
P12　健康友の会コーナー
P13　あまるめ通信
P14　診療担当医師予定表
P16　診察時間／特別外来

店長自身の舌で選んだ美味い酒と笑顔をお届け

庄内余目病院　広報誌　2011年7月号　Vol.113

# Something New in 余目病院

## 病院のロゴマーク決定

庄内余目病院　院長
野末　睦

気持ちのいい日が続いています。このあまるめ～るを皆さんが手にするころには、夏が始まっているでしょうか？楽しみでもあり、ちょっと今年は怖い感じもしますね。どうぞ脱水症にならないように水分を十分にとってください。

さて、今月の「何か新しいこと」では、広く募集を行っていた庄内余目病院の「ロゴマーク」についてです。ついに決定いたしましたので、それにまつわる感慨をお話したいと思います。まずロゴマークの応募ですが、地元の高校生からたくさんいただきました。クラブ活動の一環として応募していただいたところもあるようです。とても感激いたしました。またインターネットで広く募った効果で、全国いたるところからの応募をいただきました。43都道府県からの応募でした。全国の皆さんが当院のホームページなどをみて、真剣に私たちのシンボルマークを考えてくださったのです。応募作品全部が廊下に並んだ時には、嬉しいと同時に、何かとても温かな気持ちになりました。職員全員が同じような気持ちになったのではと思います。選考は第３次まで行われ、最後は最終選考委員間で喧々諤々の討論の末に決まりました。職員それぞれに、思いを寄せたロゴマークはいろいろあったと思いますが、これからは決定したロゴマークを皆で愛して、大切に使っていきたいと考えています。

当院が所属する徳洲会グループにもロゴマークがあり、そこに当院独自のロゴマークを加えることにより、融合と個性、両方を実現していければと考えています。読者の皆さんのロゴマークに対してのご感想をいただければとてもうれしく思います。

### いいね、表紙の写真　今月の写真ルポ

**余目商店街で酒販店を営む店長の三浦さん（庄内町余目）**

酒販店「うめかわ」として営み始めたのは戦後からで、元々は「梅川」という銘柄の蔵元でした。今もその頃の土蔵が残っており、商品は土蔵貯蔵しているそうです。通年一定の温度と湿度を保てる好環境を利用してお客さまに安心して美味しく提供できるように管理・保管にもこだわっています。

# 減塩を意識した透析調理実習

6月12日(日)平田タウンセンターにて透析患者勉強会を開催し、44名が参加しました。今回は毎年大好評の調理実習を行いました。「減塩でもおいしい透析食」をテーマに、調味料や食材の風味を生かした味付けの工夫やカリウムの抜き方を体験して頂きました。きちんと計量していただく事で、改めて減塩への意識を高めました。

## ≪今回のメニュー≫

☆春野菜のクリームスパゲッティ
☆ホタテの炊き込みご飯
☆豚肉と里芋のみそ煮
☆真鯛のオレンジトマトソース
☆オムレツのグラタン
☆春雨サラダごまマヨソース
☆レタスとレンコンのサラダ
☆マシュマロ入りフルーツヨーグルト

## 透析食の基本

✿減塩し水分摂取を控える。
(目標1日6g)
✿カリウム、リンを摂りすぎない。
(カリウムは茹でこぼすことで抜くことができます)
✿エネルギー、たんぱく質は適正にとり、バランスの良い食事を!

## レシピ ホタテの炊き込みご飯

材料(一人分)
米(95g)／水(75cc)／塩(1g)
ほたてがいの缶詰の身(13g)
ほたてがいの缶詰の液汁(20g)
にんじん(5g)／油揚げ(3g)

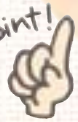
①ほたてがいの貝柱の缶詰を身と汁に分ける。にんじんは千切りにし、水にさらす。油揚げは油抜きをし、千切りにする。
②炊飯器に米と①のほたて缶の身とにんじん、油揚げを入れる。
③水と①のほたて缶の汁を合わせて米と同量の水加減にし、塩を加え、②に入れて炊く。

●エネルギー332kcal
●蛋白質3.9g
●リン67mg
●カリウム111mg
●食塩1.3g

レシピも紹介

## なるほどワンポイント

ほたてがいの缶詰の汁を使用するため少ない塩分ですみます。ほたての香りが美味しくしあがります。



庄内余目病院創立20周年記念企画

# 病院ロゴマークが決定！

群馬県
宮川　ヒロミ さん
（グラフィックデザイナー）

SHONAI
AMARUME
HOSPITAL
庄内余目病院

＝作品の趣旨＝

年齢問わず皆さまから愛され信頼されるマークとして地域住民はもとより全国に明るい笑顔を届けるデザインです。庄内余目病院の頭文字「シ」と山形愛心会に含まれる「心」をデザインしています。医療現場に博愛の心で真摯に向かい合う病院と患者の姿をデザインしています。英表記SAHを内包しております。

今回の企画で全国43都道府県（中には海外からの応募もありました）から合計５８６作品のご応募をいただきました。審査中に東日本大地震に見舞われ、一時審査が中断するという事態で皆さまにはご迷惑をおかけしましたが、５月20日（金）広報委員会にて病院ロゴマークの最終審査が行われました。このたび病院ロゴマークが決定いたしましたのでご報告いたします。

みごと最優秀作品に輝いたのは宮川ヒロミさんの作品です。審査にあたった職員からは、

・『心』という字、人が手をさしのべているモチーフが病院らしい。全体的にバランスがとれていて色の調和も良い。
・人が人に寄り添う、助け合い支え合い、人と人とのつながり、あたたかな感じが良い。

**希望者に審査結果をフィードバック致します**

多数のご応募ありがとうございました。希望される方にはご応募いただいた作品の評価結果をお知らせいたします。下記メールアドレスまでご連絡ください。

庄内余目病院　ロゴマーク募集係
Email:serverroom@amarume-hp.jp

優秀作品

重松　芳文さん（千葉県）

辰尾　智子さん（富山県）

・色使いが美しく、シンプルでわかりやすい。〝向き合う〟姿を表していて好感が持てる。

などの声が聞かれました。今後このマークは診察券、送迎バス、封筒、広報誌などで幅広く活用させていただきます。

審査にあたり作品の趣旨を拝見していると、病院で働く者として庄内余目病院の象徴を改めて知る良い機会となりました。皆さまが寄せる病院への希望や想いを感じ取り、今後もつながりを大切にしながら精進していく所存です。

【ロゴマーク審査委員一同】

全国43都道府県から
ご応募いただきました。
色の付いている箇所が
ご応募いただいた県です。

# Nursing for you 6

あなたに伝えたい看護の心

## 医療講演における看護師の活躍について

地域の皆さまの健康で豊かな暮らしを願い、庄内余目病院では医療講演会を承っています。お陰さまで町内会行事、地域の団体、学校の保健教育等でご活用いただいております。講師は医師はじめ薬剤師、管理栄養士…もちろん看護師も講師となって専門家の立場からお話しています。

今回は実際の医療講演の報告を兼ね、病気予防の啓発活動にあたったスタッフをご紹介しましょう。

5月25日(水)長沼温泉ぽっぽの湯において上堀野・局地区の方16名を対象に、回復期リハビリテーション病棟の池田小百合看護師長、加藤美津樹副主任、阿部淳介護副主任が医療講演を行いました。今回の医療講演は健康友の会の会員サービスの一環である一日湯治におけるものです。

当日は、池田師長から回復期リハビリテーション病棟について、対象疾患、入院期間、リハビリを中心に説明をした後、加藤、阿部が転倒予防体操を行いました。体操で汗をかき、会話も弾んでリフレッシュした時間となったのではないでしょうか。

【看護副主任　加藤 美津樹】

## インタビュー

### どんな思いで講演の準備をされましたか

多忙な中でもいつも笑顔を忘れない加藤副主任。今回初めて医療講演に参加しました。

まずは講演するにあたり回復期リハビリ病棟として皆さんにどんな啓発が出来るかスタッフ間で話し合いました。当病棟入院患者さんの中には大腿骨頚部骨折(足の付け根に近い部分の骨折)の方が多い傾向にあります。高齢になるとバランスを崩しやすくなり、転倒や自転車での転倒が原因で骨折するケースが多いのです。このことから、日ごろのストレッチや体を動かす習慣が、転びにくい体づくりに大切であることを皆さんに伝えたいと思いました。

## 余目病院はこんなところ

### ■当院が力を入れていること

専門職の集合体として、個々の職員が充実した満足感の高い仕事をするために、最新の医療を学ぶ機会、院外研修への参加も公費でサポート致します。

また、多職種が協力し開催する、高校生や医学生・看護学生対象のセミナーにも力を入れており、毎年多くの学生に感動の輪を広げております。

福利厚生面では、職員間の交流を図る歓迎会はもちろんのこと、職員旅行、納涼会、バースデープレゼントなど楽しい企画がいっぱいです。

## 実際に参加して感じたことはなんですか

参加していただいた方の中には日ごろから体を動かすことを心掛けている方も見受けられ、体が柔らかく床に手がつく方も数名おりました。日常生活の中で無理せずトレーニングを組み入れていくことが大切であると実証された出来事でした。このように、健康に積極的な方が地域の中にいらっしゃると、周りの人にもいい影響を与えるため、医療講演はそういう意味でも貴重な機会を設ける場なんだなと思いました。

院内だけでなく、地域の方とのふれあいを通し、病気の予防や啓発に目を向けて行きたいと改めて思いました。

ご参加くださった皆さんありがとうございました。

## 平成24年度 看護師採用試験のご案内

**◆平成24年採用試験**
8月6日(土)13時～

**◆申込締切**
7月30日(土)

**◆場　　所**
庄内余目病院 2階会議室

**◆試験内容**
小論文、面接

## 看護学生の授業料を支援！ 奨学金制度のご案内

**◆対象者**
- 看護大学または看護専門学校に在学する学生
- 平成24年4月看護大学入学決定者
- 看護専門学校入学決定者

**◆貸出金額**
月5万円、学校の修学年数

**◆貸与条件**
卒業後当院で勤務を希望される方

【お問合わせ先】
0234-43-3434(代)
看護部長室・緑川
総務課・佐々木

## 第22回研修医の集いを開催
## 瀬在幸安先生をお招きして

東北地方に属する徳洲会グループ病院で研修中の研修医と指導医が集まって、5月21日に「第22回研修医の集い」が当院で開催されました。

症例発表は6題。一つ目の症例は、まだ診断がついていなかった症例でしたが、レントゲン画像を見ながらディスカッションし、「腹直筋血腫ｔｙｐｅⅢ」という診断がつきました。また、今回は、6題のうち2題は東北大震災の被災地での医療支援活動に関するものでした。

特別講演は、１９７０年に日本で初めて冠動脈バイパス術を施行された心臓外科の権威、瀬在幸安先生（介護老人保健施設余目徳洲苑施設長）にお願いしました。心臓外科医志望の医学生も、瀬在先生の講演を聴くために、急遽参加しました。瀬在先生は、医学進歩の軌跡、ご専門の心臓外科の進歩を世界的な視野から述べられ、21世紀の健康に関する課題についても言及されました。終わりに、「先人・指導者の教え、研究・医療の協力者、患者さんが自分の宝物である」と、まわりへの感謝の気持ちを常に抱いて歩まれてきた事をお話くださいました。

【臨床研修センター　五十嵐　恵子】

## 開催
## 直すきっかけ作り

5月22日に今年2回目の透析患者勉強会が開催され、透析患者とそのご家族など33名の参加がありました。

今回のテーマは「カリウムとリン」「塩分・水分」について日向留美・大滝徹看護師からお話がありました。一日3食のメニューのパターンを挙げ、カリウムとリンの自己チェック表で食生活を見直すきっかけ作りの提案をしました。

## 患者透析勉強会を食生活を見

また、減塩する事が水分・体重管理に繋がり安全な透析ができる事を説明しました。

医療と食事は生命を養い、健康を保つためにはそれぞれが共に大切です。病気の予防と治療には日ごろの食生活がとても重要であると思います。

是非今後の食生活に活用して頂き、よりよい自己管理に繋げていただきたいと思います。

【透析勉強会スタッフ　那須　美穂】

## 米沢で医療従事者を対象に創傷ケア学術講演会を開催

〝山形県から足の切断と褥瘡をなくそう〟を合言葉に、6月10日(金)米沢勤労者総合福祉センター「アクティー米沢」を会場に創傷ケア学術講演会を開催、2題の講演を行いました。平日18時半という忙しい時間帯にも関わらず、飛び入り参加も含め医療関係者71名が参加しました。

講演Ⅰは野末睦院長兼創傷ケアセンター長が「創傷ケアセンター～連携も視野に入れて～」を講演し、創傷ケアセンターの目的・実際・関連外来等を紹介。また具体的な症例を提示することで、連携体制がどんな創傷もあきらめずに治癒できる可能性を高くすることを話しました。

講演Ⅱは関井浩義心臓血管外科部長が専門医の立場から「PAD(慢性動脈閉塞症)に対する血行再建術」を講演。症例を挙げ血行再建術の効果を話しました。血行再建術の有用性が実証されたことで、早期の専門医との連携が重要である事を示唆し説得力のある講演となりました。

休憩時間や講演終了後も個別に演者への質問や他施設同士のコミュニケーションの輪ができ、皆さんの関心の高さがうかがい知れました。合言葉どおり山形県から切断と褥瘡がなくなる希望の光が見えた会となりました。

【企画広報室　佐藤　真子】

随想

# 「人の思いを超えるもの」

Occasional thoughts

山形愛心会 理事長
瀧澤 佐武郎

昨年は1860年生まれのロシアの作家劇作家であるアントン・チェーホフの生誕150年にあたりその全集が復刊された。トルストイ、ドストエフスキー、ツルゲエネフと共に大正時代に翻訳され「智恵豊富」と当て字で記されもして親しまれた。

私とチェーホフの出逢いはインターン時代アルバイトで通った北九州の大きな精神病院での経験だった。当直から帰るといつも妻を相手に「どうしてあんな正常な人を入院させているのか！」と憤っていた。

チェーホフが医師であったことに魅かれ手にした古本の短編集に「六号室」があった。ある精神病院に勤務する医師が、閉鎖病棟の六号室に入れられた患者一人一人と心を交わして長い時間をそこで対話し過ごすようになっていく。ある日病棟から出ようとした時、錠がかけられていた。気づかないうちに医師は周囲から狂人の仲間に入れられていたのだ。自分の体験としてこれは怖ろしい話だった。その中に「惨めな正常性の世界」と言う医師の言葉がある。今も絶え間なく殺戮をくりかえしている人間の歴史こそ世の強者という狂人が創った歴史かもしれない。芥川龍之介が「人生は狂人の催したオリンピック」と言ったことも六号室の精神科医の言葉と重なってきた。モスクワ大学の苦学生であったチェーホフは画家になるのをあきらめて徒食していた兄をも養い、雑誌にコントを書き飛ばして生活の糧を得た。当時ロシアは農奴が支えた帝政の末期で、工業の勃興で農村自然が壊されていく時代の変わり目だった。チェーホフは医師として農民の生活にも深く関わり、人間のあらゆる悲喜劇を味わった。結核に冒された体で当時から流刑地であったサハリン島（樺太）を単身9ヶ月かけて踏破し、何万の若い流刑者の生活と病と死を書き留めた。この旅が彼の生命を縮め44歳で亡くなった。

チェーホフの世界は胸ときめかせるようなドラマは何もない。ただ人の世のあらゆる機微を、その場に居合わせて人物に対しているように読者に描き出す。

生まれたばかりの赤ん坊を殺され病院から引きとって村へ帰る母親の物語の中で、通りかかった馬車の老人が母親を乗せて村近くまで送る。その道すがら老人は悲嘆のどん底にいる若い母親に語りかける。

日雇人夫として生命からがら生きてきた自分自身の一生の事。そしてそれでも今もこうして生きていると。

どんな悲惨な物語を読んでも人の営みを超えた大きなものに包まれる思いがする。

最愛の家族、友人、生まれ故郷の日常を突然断ち切られた東北の被災地の人々を思う時、チェーホフが私たちに残してくれた「人の思いを超えるもの」が、今なお被災の只中にある方々にも私たちのもとにもあることを疑わない。

Occasional thoughts

# あまるめ～る川柳

～身近な出来事の中から　思わず笑みがこぼれてしまうような状況を詠んで～

すこやかに
生きて高齢　プチ自慢
［ミセス・ナミチャン　さん］

米寿よ
孫が返した　祝い金
［かとうたけし　さま］

## あなたの川柳を投稿しませんか

【応募方法】

・郵便はがき又はEメール（kikaku@amarume-hp.jp）、病院ホームページからでもご応募できます。住所・氏名・掲載時に使用する名前（ペンネーム可）・電話番号・年齢・今月号のあまるめ～るで一番興味のあった記事のタイトルと感想を添えて「あまるめ～る川柳係」までご応募ください。

・川柳投函ポスト院内設置場所「1階待合フロアご意見箱隣・1階公衆電話隣。

**掲載された方には記念品を贈呈致します**

※応募用紙に住所、氏名等が未記入等の理由でご本人様を確定できない場合は、記念品の贈呈ができない場合がありますので記入洩れのないようお願い致します。

## 患者さんの作品紹介 ～貼り絵～

今回で掲載が2回目となるAさんの作品です。Aさんは、通院のリハビリ以外にも自分で材料を用意してご自宅で作品作りをしているそうです。実は今回、ご本人としてはいい出来ではないからと作品の掲載に消極的でした。しかし担当の言語聴覚士や他の患者さんからも「素晴らしい」と大絶賛であったため、今回皆さんに素敵な作品をお披露目することが出来ました。夏もビタミンカラーで元気になりそうですね！

【編集部　森谷】

**リハビリの視点「道具を使う」**

貼り絵は手でちぎって貼るだけでも指先の力を向上させるのに効果的ですが、ハサミなどの道具を介して行うことでより手指の操作性を向上することが出来ます。

# 健康友の会コーナー

## 今月の予定

7月13日　一日湯治（宮曽根）
7月29日　役員会

## お知らせ

大会は7月20日（水）に延期します。時間等は同じです。

6月24日（金）に予定しておりました第7回グランドゴルフ

## 会員数

（4月30日現在）

2586名

## 一日湯治

長沼温泉「ぽっぽの湯」で開催

## 「元気をつなげよう」PJモデル決定！

町中が元気になるよう、地域で支えあう関係づくりのお手伝いをさせていただきたいと考え、健康づくり「元気をつなげよう」プロジェクトが始動しました。第1号モデルは四ヶ村（南野新田・主殿新田・中野・南興屋）地区に決定しました。南野新田部落公民館をお借りして7月～12月まで計11回の開催予定です。（日程等は左表）

このプロジェクトは、元気な高齢者の方、体や気力の衰えが少し気になる方、介護予防の支援活動をしてみたい方など、年齢・性別に関わらずどなたでもお気軽に参加できます。日常生活活動を意識して、介護予防、体力の維持・増進、閉じこもりを防ぎましょう！

**＜開催時間＞**
9:30～10:30
9:00～11:00（1回目、11回目）

| 回 | 開催日 | 内　容 |
|---|---|---|
| 1 | 7/23 | 開講式 |
| 2 | 8/6 | マット運動 |
| 3 | 8/20 | マット運動 |
| 4 | 9/3 | ボールエクササイズ |
| 5 | 9/17 | ボールエクササイズ |
| 6 | 10/1 | スクエアステップ |
| 7 | 10/12 | 健康づくり講話（北月山荘） |
| 8 | 10/15 | ボールエクササイズ |
| 9 | 11/5 | スクエアステップ |
| 10 | 11/19 | マット運動 |
| 11 | 12/3 | 閉講式 |

**四ヶ村地区の皆さんの参加をお待ちしております。**

## **2011 ふみづき **

### 5月25日（水）『リハビリ体操』

講師：回復期リハビリ病棟　池田、加藤、阿部

上堀野・局地区会員16名が参加しました。局地区は今回が初参加です。健康講座では、驚くほど体の柔らかい方がおられスタッフもビックリ。ただただ関心させられたところです。

### 6月15日（水）『いつまでも健康な脚でいましょう』

講師：リハビリテーション科　雨宮

榎木地区会員19名が参加しました。去年一昨年と都合により開催できず、3年振りの開催です。

### 6月22日（水）『減塩について』

講師：透析室　大滝

仲町地区会員16名が参加しました。2年振りの開催です。昨年は都合により開催できませんでしたが、医療講演の依頼にも積極的で健康についての勉強はとても熱心です。

# ご案内コーナー
# あまるめ通信

講演会、勉強会のお問い合わせ先
電話番号は 0234-43-3434(代)
インターネットからは
余目　医療講演　検索　クリック

## 地元の温泉入浴施設にて《定期》医療講演を開催

★長沼温泉ぽっぽの湯にて
14時～開催！

今月は7月21日(木)「肩こりと手のシビレ」について予定しています。
皆さまお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

●長沼温泉ぽっぽの湯
鶴岡市長沼字宮前266－1
TEL 0235－64－4126

【医療講演会のお問合わせ先】
企画課　遠藤・佐藤まで

## 少人数から、大人数まで！医療講演承ります

各種研修会や会合・町内会行事・敬老会・婦人会・学校の保健教育等の際にぜひご利用ください。
(講演費用は一切かかりません。)

【お問合わせ先】
企画課　遠藤・佐藤まで

## ここはあまるめミュージアム!?絵画が寄贈されました

庄内余目病院放射線科からリハビリテーションセンターに向かう廊下と、透析センターからリハビリテーションセンターに向かう廊下に、寄贈された22点の絵画を展示しました。

患者さんのご家族から「病院のスタッフ皆さまにお世話になりました」と思いのこもった贈り物です。大小様々、油絵からガラス工芸品まで幅広く、多くの方が楽しめるゾーンとなっています。お散歩コースに是非どうぞ。

▲放射線科からリハビリの廊下

▲透析センターからリハビリの廊下

## 編集後記

先月のことですが、とある会合で大福をいただいたのですが、こし餡でふかふかでとっても美味しかったのです。なんとなんと手作りと聞き驚き、大福も自分で作れるのだと思いました。　【編集部　加藤】

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 心臓センター | 夕診 | - | 担当医師 | - | 担当医師 | - | - | 休日 |
| 婦人科 | 午前 | - | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| | 夕診 | 森﨑 | - | - | - | - | - | |
| リウマチ・アレルギー外来 | | - | - | - | - | - | 上地 | |
| 形成外科 | | - | - | - | - | - | - | |
| 神経内科 | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 創傷ケア | | 野末/川島 | - | 野末/川島 | 野末/川島 | - | - | |
| 整形外科 | | - | 整形外科医師 | - | - | - | 御園生 | |
| 皮膚科 | | - | - | 小栗 | - | - | - | |
| 泌尿器科 | | - | - | 今村 | - | - | - | |
| メモリークリニック | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 心身外来/ホメオパシー | | 竹中/竹中 | 竹中/竹中 | - | - | 竹中/竹中 | - | |
| 禁煙外来 | | - | 野末 | - | - | - | - | |

| | 18 (月) | 19 (火) | 20 (水) | 21 (木) | 22 (金) | 23 (土) | 24 (日) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 午前 | 海の日 | 齊藤 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本/篭島 | 滝沢瀧澤/山本 | 瀧澤/篭島 | 休日 |
| 内科 夕診 | | 篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本 | - | - | |
| 総合診療科 | | 川島 | - | - | 寺田(夕診) | - | |
| 緩和ケア外来 | | 坂井 | - | - | - | - | |
| 外科 午前 | | 野末/門間 | 柏木/門間 | 柏木/門間 | 野末/林 | 林/熊谷 | |
| 外科 夕診 | | - | 門間 | - | 熊谷 | - | |
| 脳神経外科 午前 | | 小野 | 小野 | 東山 | 東山 | 東山 | |
| 脳神経外科 夕診 | | 小野 | - | 東山 | - | - | |
| 脳外特診 | | - | - | - | - | - | |
| 歯科口腔外科 午前 | | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | |
| 歯科口腔外科 午後 | | - | - | 荒 /助川 | 荒 /助川 | - | |
| 歯科口腔外科 夕診 | | 荒 /助川 | - | - | - | - | |
| 心臓センター 午前 | | 寺田/関井 | 菊池 | 寺田 | 寺田 | - | |
| 心臓センター 夕診 | | 担当医師 | - | 担当医師 | - | - | |
| 婦人科 午前 | | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| 婦人科 夕診 | | - | - | - | - | - | |
| リウマチ・アレルギー外来 | | - | - | - | - | 上地 | |
| 形成外科 | | - | - | - | 富樫 | 富樫 | |
| 神経内科 | | - | - | - | - | 高橋 | |
| 創傷ケア | | - | 野末/川島 | 野末/川島 | - | - | |
| 整形外科 | | 休診 | - | 原田 | - | 作田 | |
| 皮膚科 | | 矢島 | - | - | - | - | |
| 泌尿器科 | | 今村 | - | - | - | - | |
| メモリークリニック | | - | - | - | - | 高橋 | |
| 心身外来/ホメオパシー | | 竹中/竹中 | - | - | 竹中/竹中 | - | |
| 禁煙外来 | | 野末 | - | - | - | - | |

| | 25 (月) | 26 (火) | 27 (水) | 28 (木) | 29 (金) | 30 (土) | 31 (日) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 午前 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/齊藤 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本/篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/篭島 | 休日 |
| 内科 夕診 | 山本 | 篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本 | - | - | |
| 総合診療科 | - | 川島 | - | - | 寺田(夕診) | - | |
| 緩和ケア外来 | - | 坂井 | - | - | - | - | |
| 外科 午前 | 柏木/熊谷 | 野末/門間 | 柏木/門間 | 門間/熊谷 | 野末/林 | 柏木/熊谷 | |
| 外科 夕診 | 柏木 | - | 門間 | - | 熊谷 | - | |
| 脳神経外科 午前 | 高橋 | 高橋 | 高橋 | 小野 | 小野 | 小野 | |
| 脳神経外科 夕診 | - | 高橋 | - | 小野 | - | - | |
| 脳外特診 | - | - | - | - | 菅原 | - | |
| 歯科口腔外科 午前 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | |
| 歯科口腔外科 午後 | 荒 /助川 | - | - | 荒 /助川 | 荒 /助川 | - | |
| 歯科口腔外科 夕診 | - | 荒 /助川 | - | - | - | - | |
| 心臓センター 午前 | 循環器医師/関井 | 寺田/関井 | 菊池 | 寺田 | 寺田/菊池 | - | |
| 心臓センター 夕診 | - | 担当医師 | - | 担当医師 | - | - | |
| 婦人科 午前 | - | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| 婦人科 夕診 | 森﨑 | - | - | - | - | - | |
| 創傷ケア | 野末/川島 | - | 野末/川島 | 野末/川島 | - | - | |
| 整形外科 | - | 整形外科医師 | - | - | - | 整形外科医師 | |
| 皮膚科 | - | - | 小栗 | - | - | - | |
| 泌尿器科 | - | - | 今村 | - | - | - | |
| 精神・心療内科 | - | - | 馬場 | - | - | - | |
| 心身外来/ホメオパシー | 竹中/竹中 | 竹中/竹中 | - | - | 竹中/竹中 | - | |
| 禁煙外来 | - | 野末 | - | - | - | - | |

# 2011年7月 診療担当医師予定表

※都合により担当医師が変更になる場合がございます。

※ピンク色のマスは女性医師が担当している枠です。

| | | 1 金 | 2 土 | 3 日 |
|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/篭島 | 休日 |
| | 夕診 | - | - | |
| 総合診療科 | | 吉良(夕診) | - | |
| 緩和ケア外来 | | - | - | |
| 外科 | 午前 | 野末/林 | 柏木/熊谷 | |
| | 夕診 | 熊谷 | - | |
| 脳神経外科 | 午前 | 小野 | 小野 | |
| | 夕診 | 小野 | - | |
| 脳外特診 | | - | - | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | |
| | 午後 | 荒 /助川 | - | |
| | 夕診 | - | - | |
| 心臓センター | 午前 | 寺田/菊池 | - | |
| | 夕診 | - | - | |
| 婦人科 | 午前 | 森﨑 | - | |
| | 夕診 | - | - | |
| 創傷ケア | | - | - | |
| 整形外科 | | - | 菅谷 | |
| 皮膚科 | | - | - | |
| 心身外来/ホメオパシー | | 竹中/竹中 | - | |
| 禁煙外来 | | - | - | |

| | | 4 月 | 5 火 | 6 水 | 7 木 | 8 金 | 9 土 | 10 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/齊藤 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本/篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/篭島 | 休日 |
| | 夕診 | 山本 | 篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本 | - | - | |
| 総合診療科 | | - | 川島 | - | - | 吉良(夕診) | - | |
| 緩和ケア外来 | | - | 坂井 | - | - | - | - | |
| 外科 | 午前 | 柏木/熊谷 | 野末/門間 | 柏木/門間 | 門間/熊谷 | 野末/林 | 柏木/熊谷 | |
| | 夕診 | 柏木 | - | 門間 | - | 熊谷 | - | |
| 脳神経外科 | 午前 | 高橋 | 高橋 | 高橋 | 柴田 | 柴田 | 柴田 | |
| | 夕診 | - | 高橋 | - | 柴田 | - | - | |
| 脳外特診 | | - | - | - | - | 菅原 | - | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | |
| | 午後 | 荒 /助川 | - | - | 荒 /助川 | 荒 /助川 | - | |
| | 夕診 | - | 荒 /助川 | - | - | - | - | |
| 心臓センター | 午前 | 循環器医師/関井 | 寺田/関井 | 菊池 | 寺田 | 寺田/菊池 | - | |
| | 夕診 | - | 担当医師 | - | 担当医師 | - | - | |
| 婦人科 | 午前 | - | 森﨑 | 森﨑 | - | 森﨑 | - | |
| | 夕診 | 森﨑 | - | - | - | - | - | |
| リウマチ・アレルギー外来 | | - | - | - | - | - | 岸本 | |
| 形成外科 | | - | - | - | - | - | 桑原 | |
| 神経内科 | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 創傷ケア | | 野末/川島 | - | 野末/川島 | 野末/川島 | - | - | |
| 整形外科 | | - | 整形外科医師 | - | 菅谷 | - | 原田 | |
| 皮膚科 | | - | 矢島 | - | - | - | - | |
| 泌尿器科 | | - | 今村 | - | - | - | - | |
| メモリークリニック | | - | - | - | - | - | 高橋 | |
| 心身外来/ホメオパシー | | 竹中/竹中 | 竹中/竹中 | - | - | 竹中/竹中 | - | |
| 禁煙外来 | | - | 野末 | - | - | - | - | |

| | | 11 月 | 12 火 | 13 水 | 14 木 | 15 金 | 16 土 | 17 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 午前 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/齊藤 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本/篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/篭島 | 休日 |
| | 夕診 | 山本 | 篭島 | 瀧澤/山本 | 瀧澤/山本 | - | - | |
| 総合診療科 | | - | 川島 | - | - | 寺田(夕診) | - | |
| 緩和ケア外来 | | - | 坂井 | - | - | - | - | |
| 外科 | 午前 | 柏木/熊谷 | 野末/門間 | 柏木/門間 | 門間/熊谷 | 野末/林 | 柏木/熊谷 | |
| | 夕診 | 柏木 | - | 門間 | - | 熊谷 | - | |
| 脳神経外科 | 午前 | 高橋 | 高橋 | 高橋 | 柴田 | 柴田 | 柴田 | |
| | 夕診 | - | 高橋 | - | 柴田 | - | - | |
| 脳外特診 | | - | - | - | - | 東山 | - | |
| 歯科口腔外科 | 午前 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | 荒 /助川 | |
| | 午後 | 荒 /助川 | - | - | 荒 /助川 | 荒 /助川 | - | |
| | 夕診 | - | 荒 /助川 | - | - | - | - | |
| 心臓センター | 午前 | 循環器医師/関井 | 寺田/関井 | 菊池 | 寺田 | 寺田/菊池 | - | |

あまるめ～る7月号　No.113

# 診療時間の御案内

| | 午前診 | 午後診 | 夕　診 | 診療科により診察曜日が異なることがあります。ご確認ください。 |
|---|---|---|---|---|
| 内　　科 | 9:00～12:00 | ー | 17:00～19:00 | 夕診は月～金 |
| 総合診療科 | 9:00～12:00 | ー | 17:00～19:00 | 毎週火曜日、夕診は金曜日 |
| 外　　科 | 9:00～12:00 | ー | 17:00～19:00 | 夕診は月・水・金 |
| 整形外科 | 9:00～12:00 | ー | ー | 毎週火・土曜日、毎月奇数週木曜日 |
| 皮　膚　科 | 9:00～12:00 | ー | ー | 火または水(週により異なります) |
| 脳神経外科 | 9:00～12:00 | ー | 17:00～19:00 | 夕診は火・木 |
| 歯科口腔外科 | 9:00～12:00 | 14:00～17:00 | 16:00～19:00 | 毎週水曜日午後診休み、夕診は火 |
| 泌尿器科 | 9:00～12:00 | ー | ー | 火または水(週により異なります) |
| 心臓センター | 9:00～12:00 | ー | 17:00～19:00 | 夕診は火・木 |
| 神経内科 | 8:30～11:30 | ー | ー | 第2・3・4土曜日のみ |
| 婦人科 | 9:00～12:00 | ー | 16:00～19:00 | 午前診・・・火・水・金　夕診・・・月 |
| 形成外科 | 9:00～12:00 | ー | ー | 毎月第2土曜日、第4金・土曜日 |

# 特別外来

| | | |
|---|---|---|
| 創傷ケア外来 | 9:00～12:00 | 毎週水・木曜日(予約制) |
| DM(糖尿病)フットケア外来 | 9:00～12:00 | 毎週木・金(予約制)、月に1回は土曜日も診療 |
| 精神・心療内科 | 9:00～12:00 | 毎月第4水曜日(予約制) |
| 脳神経外科特診・脊髄・脊椎 | 予約制 | 月3回金曜日 |
| 禁煙外来 | 予約制 | 毎週火曜日 |
| メモリークリニック | 11:30～13:30 | 毎月第2・3・4土曜日(予約制) |
| 心身外来 | 9:00～12:00 | 毎週月・火・金曜日(予約制) |
| リウマチ・アレルギー外来 | 9:00～14:00 | 月3回土曜日(予約制) |
| ホメオパシー専門外来(自由診療) | 13:00～14:00 | 毎週月・火・金曜日(予約制) |
| 緩和ケア外来 | 9:00～12:00 | 毎週火曜日(予約制) |

診療は・・・
土曜(午前)と平日の夕方診療(19時まで)も行っています。
(※診療科により曜日が異なります。)
尚、急患等はいつでも受付致します。

●基本理念●
生命を安心して預けられる病院
健康と生活を守る病院
地域に貢献する病院

●患者さんの権利●
1．人格とプライバシーを尊重される権利
2．良質の医療を受ける権利
3．説明を受ける権利
4．自己決定の権利
5．個人情報保護の権利
6．診療情報の提供を受ける権利

医療法人社団　山形愛心会　**庄内余目病院**

〒999-7782　山形県東田川郡庄内町松陽1-1-1
でんわ　0234-43-3434㈹
ファックス　0234-43-3435
Ｅ-メール　amarumehp@tokushukai.jp
病院ホームページ　http://www.amarume-hp.jp

理事長
瀧澤佐武郎
院　長
野末　睦

日本医療機能評価機構

病院ブログを携帯からもご覧になれます

病院ホームページにモバイル版ができました。

■発行　2011年(平成23年)7月1日(毎月1回1日発行)　■発行部数　3000部
■編集　あまるめ～る編集部会　■印刷所　朝日印刷株式会社